

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度第3回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成26年10月3日(金) 午後3時00分から 午後4時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所 201会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、矢野 義光委員、戸張 英男委員、 越川 千春委員、飯島 芳子委員
欠席委員(者)氏名	大脇 利彦委員、峯尾 武巳委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 伊東 孝 いきいき推進課 課長補佐兼 介護給付係長 海老沼 浩行 高齢福祉係長 酒匂 淑子 介護認定係長 稲見 絹子 いきいき推進課介護給付係 秋田 真菜美
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	(1) 第5期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の 進捗状況について (2) 地域包括支援センターについて (3) 第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に ついて (4) その他
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	1名
会議資料の名称	1. 第5期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗 状況について ・吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況に ついて(高齢者サービス・地域支援事業) ・吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況に ついて(平成25年度介護給付費実績) 2. 地域包括支援センターについて ・平成25年度吉川市地域包括支援センター収支報告書 ・吉川市地域包括支援センター運営実績報告書(平成25 年度) ・平成26年度吉川市地域包括支援センター予算書 3. 第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画につい て ・第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子案 ・アンケート結果にみる重点課題・ニーズ ・高齢者人口の推移 ・介護認定者の推移
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	矢野 義光委員、飯島 芳子委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)

開 会

会長あいさつ

・議題が多岐に渡るので限られた時間だが、忌憚なきご意見・ご審議をお願いしたい。今後も複数回会議が予定されており、大変だと思うがより良いものを作ってほしいと思う。

議事

中村会長

議事の前に矢野委員、飯島委員を議事録署名委員に指名する。

議題

(1) 第5期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について

(事務局説明)

・以下の事業について、利用見込量に対する実績を報告。

第5章 目標に向けた取組み

第2節 健康づくりと介護予防の推進

1. 元気な高齢者向け(一次予防対象者)介護予防事業の推進

(1) いきいき運動教室の充実

2. 日常生活機能の低下が見られる高齢者向け(二次予防対象者)事業の推進

(1) 二次予防事業の充実

第4節 地域包括ケアの推進

2. 認知症高齢者対策の推進

(2) 認知症サポーターの養成

・平成25年度介護給付費実績について報告。進捗率が100%を超えたもの、特に計画値より低いものについて説明。吉川市では予防給付の需要が大きいことが分かるので、この結果も今後検討の材料にする。

中村会長

・ご質問やご意見はあるか。

矢野委員

・利用見込量に対する実績については計画通りだが、二次予防事業の充実のうち、運動器の機能向上教室だけ利用見込量とギャップがあるようだが要因は何か。
・認知症サポーターの養成とは、実際どのような育成をしているのか。また、施設や団体との連携はどうなっているのか。

事務局

・運動器の機能向上教室は、コース数の実績が見込より少なかったためギャップがあり、平成25年度は1つ増やした結果である。平成26年度は見込通り8コースを予定しているので、利用者は100人以上となる予定。
・認知症サポーターは介護相談員の方10名に主に活動していただいている。キャラバンメイトとしても活躍しており、月1回行っている連絡会で情報交換をしている。
・全3チームに分かれ要請のあったところに出向くかたちで、今年度は吉川南中学校の2年生を対象とした講座を行う予定。

矢野委員

・育成した後、認知症の方とどう触れ合うかも検討してほしい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーターのスキルアップも含め、第6期計画で検討する。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・介護療養型医療施設の廃止によって、居宅介護が増えたと思う。今後も増えていくのではないかと。また、地域密着型サービスの進捗率が低いのも気にかかる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・増加は当然考えられるので、今後、第6期計画に向け分析し推移を計画に反映していく。第5期計画内に開所予定だった小規模特養の計画が遅れたことが原因の1つ。現在工事中で、平成27年4月に開所を予定しているため、第6期ではきちんとした数字を入れる予定である。 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについても平成25年から見込んでいたが、事業所が開所したのは平成26年8月となった。また、小規模多機能については、サービス提供事業所がなかった。
中村会長 委員全員	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご質問やご意見はあるか。 無しという声あり
議題 (2) 地域包括支援センターについて	<p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の収支報告書及び運営実績報告書、平成26年度予算書について説明。相談内容は介護保険に関するものが1番多く権利擁護や介護予防教室も各地域包括支援センターで意欲的に行っていた。
中村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご質問やご意見はあるか。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・質問ではないが、第2地域包括の相談受付件数が少ない気がするので確認しようかと考えていた。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントの仕方が違う等が考えられるので包括会議で確認する。
中村会長 委員全員	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご質問やご意見はあるか。 無しという声あり
議題 (3) 第6期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について	<p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6期計画の骨子案について説明。第5期では3つあった基本理念を第6期では1つにまとめ、目標を複数設定する旨説明。 ・高齢者人口の推移、介護認定者の推移について説明。前回ご指摘があったように、特殊要因を含め推計し随時見直す予定。 ・アンケート結果にみる重点課題・ニーズについて説明。吉川市に必要なものは何か、今後具体的に数字を出していく。第6期では施設の充実が必須と考えている。
中村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・何かご質問やご意見はあるか。

飯島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターの育成について、吉川南中学校で行うとあったが、以前にスライド形式で講座をしたが講座終了後、すぐ解散し教室に戻ってしまった。教室で感想文を書くより、その場でグループワークをする等、効果的な方法を考える必要がある。寸劇をしたときも好評で、盛り上がる＝印象に残るのだから工夫が大切。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発DVDが新しくなり、身近な例を挙げる等分かりやすいものになった。吉川南中学校の講座ではスライドを短めにし、先生や生徒にも参加してもらおう寸劇を行う予定である。場所が公民館の大ホールなので今回はグループワークは難しいが、今後の講座では参考にさせていただく。また、第6期計画にも盛り込むようにする。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な人口推移について、老年人口対それ以外の人口の比率を国全体では3：1と予測している。しかし、総数だけでなく独居や老老介護の件数も出す必要があると思う。 ・リハビリについても認知症と同様に配慮が必要になると思われ、口腔衛生、嚥下、ターミナルケアの扱いについても検討が必要。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、一次・二次の区別をなくしてリハビリについてもとりあげるよう国から提案がされている。よって今後含める予定ではあるが、口腔衛生や嚥下も大切にしたいと考えている。 ・ターミナルケアについては、医療との連携を大切にしたい。 ・独居や老老介護は、どこまで吸いあげ可能かによるが、必ず増加するので、計画に盛り込むことを考えている。
中村会長	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防対策について。認知症になっていない人、認知症の人、更に軽度認知障害（MCI）という状態がある。それは、物忘れが多くなるなど、身近な人からみれば何か気になる、かといって認知症のレベルまでいっていない状態。その時期にそのままにしておくと、認知症に移行する人と、そうならず、ずっとMCIのまま経過できる人と、どのように推移するか。今は軽度のうちから治療もできるようになってきた。色々な考え方がるので、参考にしてほしい。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括という言葉が市民の身近になく、分かりにくいのではないかと思う。国や県との絡みもあると思うが、市民の方に分かりやすく周知していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについては、ガイドラインが国から提示されている。医療との連携や認知症初期支援の重要性はもちろん、NPOの育成をすることで多様な担い手による多様な生活支援の利用が可能となる。元気な高齢者の社会参加にもつながる。 ・仕組みづくりを行政から提供していきたいと考えている。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のことは地域でという考えを地域包括ケアと言うが、国で言うところの地域ケアと、地域包括ケアでは、また少し意味が違ってくる。

<p>事務局</p> <p>議題 (4)その他 中村会長</p> <p>その他1 事務局</p> <p>矢野委員</p> <p>事務局</p> <p>矢野委員</p> <p>事務局</p> <p>中村会長 委員全員</p> <p>閉会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを地域で行うことは困難であり、国や県で行なうべきことと当該市で行うこと、その境目が出てくるが、その部分がまだはつきりしていない。そのあたりを計画で方向づけていただきたい。 ・地域包括ケアについては、行政主導ということではなく、地域での役割や、住民も主体となり共に話し合っ築いていくものだという事を、地区担当保健師や課の職員が、住民と関わる機会を持つ中で共有する機会とし、啓発していきたい。 ・それでは議題4 その他に入ります。何かあるか。 無しという声あり <p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定者数の推移については人口推計とあわせ、見込み数や計画に位置付けていく。特養の整備については、設立希望の社会福祉法人と県と協議を進めている段階で、第6期計画中に立ち上がる予定である。 ・在宅と施設と地域密着とをそれぞれ考慮し、計画づくりをしていく考えである。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後、療養病床の維持も難しくなり、医療の必要性の高い方以外が、そこを出た場合どうするか。また、がんやターミナル期の方は治療だけ病院で受けられても、その後介護の範疇でみていくようになる。軽い人ばかりが在宅というわけにはいかない。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護は3Kと言われているのが現状で、介護報酬の改定が見込まれている。報酬のみでなく、環境整備が必要と考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・不規則で夜間勤務もある仕事なので、人材確保も課題である。 <ul style="list-style-type: none"> ・認定前の介護予防でいかに食い止めるかも課題である。2025年に団塊の世代が75歳になるので、特に介護予防は重要と考えている。 <ul style="list-style-type: none"> ・他に何かご意見等あるか。 無しという声あり
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成26年10月23日

署名委員

矢野義光

署名委員

飯島芳子